

## 令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 85-87 ページ)

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	23 環境問題への取り組み強化

### ★ 目指す姿

みんなが環境について自ら考え、環境に配慮した生活・活動を実践している。



### ■ 施策の主な取り組み

#### ① ごみ減量と資源化の推進

市民・事業者・行政の協働のもと、ごみの発生抑制、新たな資源化を推進し、環境への負荷を減らします。
--

#### ■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	ごみ減量及び資源化推進事業	ごみの発生・排出抑制のための各種事業（電動式ごみ処理機の購入補助、集団資源回収奨励、マイバッグ運動など）や分別・収集に係るルールの見直し、リユースイベント等を実施します。	—

#### ◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14
1人当たりの1日のごみ排出量	g	家庭系ごみ総量／365日／入口	675	533	533	533
ごみの資源化率	%	資源化量／家庭系ごみ総量	14.5	23	23	23

前年度実績値 (R5)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (実渡末)	目標達成度 (R6年度比)	
607	533	—	585	63.4%	市民環境部 廃棄物対策課
13.1	23.0	—	13	54.8%	市民環境部 廃棄物対策課

#### ② 環境保全対策の推進

市民の環境に対する意識向上を促し、市内の環境保全を図ります。
--------------------------------

#### ■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	不法投棄防止啓発事業	不法投棄の温床になりやすい現場に対し監視カメラの設置、パトロール、啓発看板等で対策するとともに、定期的に不法投棄物を撤去します。	●
②-2	生活環境保全事業	環境に関する情報発信、あきさ地所有者への雑草除去通知、環境調査、公告苦情対応等を実施します。	●

#### ◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14
不法投棄相談件数	件	相談件数	25	23	21	19
公害苦情相談件数	件	相談件数	45	38	31	24

前年度実績値 (R5)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (実渡末)	目標達成度 (R6年度比)	
22	23	4	15	500.0%	市民環境部 廃棄物対策課
24	38	19	34	157.1%	市民環境部 環境対策課

### ■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	実績と課題	担当課 評議会 (A/B/C)	今後の方向性				担当所管
					3視点 所管判定	成績の方向性	現状維持	方針の内容(改善策)	
①-1	ごみ減量及び資源化推進事業			A	72	【成績】 -ごみの各種団体への補助金、生ごみ処理機への補助金は、実施済。 -「ええもんくルっとコーカー」については、本行合1期にて常設。 -「ええもんくルっとコーカー」については、本行合1期にて常設。 -家庭内で発生するごみ等の減量のため、電動式ごみ処理機を購入される方に押し、購入金額の一部の補助を実施する。 -まだ使える「食器類」を音こまか集め、必要とするために差し上げるリユースカード「ええもんくルっと市・コーカー」を開催する。	【現状】 -「ええもんくルっと市・コーカー」のための食器類回収の市民への周知方法の検討が必要。	【方針】 -「ええもんくルっと市・コーカー」についての予算を超えるニーズもあるが、現状を維持しながら、今後の推移に注視する。	市民環境部 廃棄物対策課
②-1	不法投棄防止啓発事業			A	67	【成績】 -不法投棄監視対象箇所のパトロールを月2回実施。 -市内公共施設への不法投棄については、担当所轄課と連携し対応した。民間地への不法投棄については、対応方法等を指導した。	【現状】 -「ええもんくルっと市・コーカー」については、予算を超えるニーズもあるが、現状を維持しながら、今後の推移に注視する。	【方針】 -広報活動及び監視パトロールを継続して実施する。 -通報があれば必要に応じて不法投棄物を撤去する。 -不法投棄の温床になりやすい現場に対し監視カメラや啓発看板を設置し、発生を抑制する。	市民環境部 廃棄物対策課
②-2	生活環境保全事業			A	90	【成績】 -環境に関する情報については広報誌による周知に加え、市HPの改善により問題に対する機会を増加した。	【現状】 -「ええもんくルっと市・コーカー」については、予算を超えるニーズもあるが、現状を維持しながら、今後の推移に注視する。	【方針】 -「ええもんくルっと市・コーカー」については、予算を超えるニーズもあるが、現状を維持しながら、今後の推移に注視する。	市民環境部 環境対策課

### ■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・市民がごみの分別・ごみ減量等及び不法投棄について理解し行動できるよう啓発し、広報紙やホームページで情報発信していく。 ・環境問題について市民の方が自動的に行動していくよう、引き続き広報やHPにて情報を発信していく。
---------	---

担当課評議会	成果の方向性		コストの方向性	
	A	3 事業	B	0 事業
	拡充	0 事業	拡大	0 事業
	現状維持	3 事業	現状維持	3 事業
	縮小	0 事業	縮小	0 事業
	休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

担当課評議会	成果の方向性		コストの方向性	
	A	3 事業	B	0 事業
	拡充	0 事業	拡大	0 事業
	現状維持	3 事業	現状維持	3 事業
	縮小	0 事業	縮小	0 事業
	休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

## 令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 88-89 ページ)

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	24 自然環境・景観の保全

### ★ 目指す姿

街路や公園、河川などが綺麗に保たれていて、一人ひとりがその状態を維持しようと努力している。



### ■ 施策の主な取り組み

#### ① 美しい自然環境・景観の保全

まちを形成する道路や公園、河川および森林の適切な管理により、美しい自然環境・住環境の保全を図ります。また、美しいまちなみ景観の形成および屋外広告物の適正な管理を図るとともに、地域を主体とした景観形成の仕組みづくりを推進します。

### ■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	街路美化推進事業	まちを形成する道路等について、定期的な草刈り・剪定などの美化作業を行います。また、地域の美化活動を促進します。	●
①-2	都市公園維持管理補修事業	誰もが安全、快適に利用できる公園環境のための適切な維持管理を行います。	●
①-3	河川維持管理事業	河川・水路の定期的な点検・美化清掃・維持補修を行うとともに、土砂上げ等など適切な維持管理を行います。	●
①-4	屋外広告物規制事業	良好な景観・風致を維持するために、広告物掲出時の指導・啓発を行うとともに、違反広告物の撤去作業を行います。その削減に努めます。	—

### ◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
森林・街路・公園維持管理面積	ha	維持管理体制の整っている森林面積、街路樹面積、公園面積の総数 (累計)	44	44	77	130

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (9月末)	目標達成度 (R6度比)	
45	45	45	45	100.0%	都市創造部 公園道路管理課

### ■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	今後の方向性		担当所管
					3視点 所管判定	方向性の内容(改善策)	
①-1	街路美化推進事業	・定期的な街路上における街路樹の剪定を実施する	A 77 拡充 90 現状維持 77 拡大	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	定期的に草刈り・剪定を実施しているが、草木の生育に対して、剪定が追付いている箇所に加え、新規の要剪定箇所も発生しており、剪定回数や箇所を増やすして実施する。	都市創造部 公園道路管理課	
①-2	都市公園維持管理補修事業	・定期的な公園内における樹木の剪定を実施する ・定期的な公園内における遊具の点検を実施し、危険度の高い箇所から改修を実施する	A 77 拡充 90 現状維持 77 拡大	定期的に草刈り・剪定を実施しているが、草木の生育に対して、剪定が追付いている箇所に加え、新規の要剪定箇所も発生しており、剪定回数や箇所を増やすして実施する。	定期的に草刈り・剪定を実施しているが、草木の生育に対して、剪定が追付いている箇所に加え、新規の要剪定箇所も発生しており、剪定回数や箇所を増やすして実施する。	都市創造部 公園道路管理課	
①-3	河川維持管理事業	・河川や水路の土砂撒きや草刈り等を実施する。	A 65 現状維持 90 現状維持 77 拡大	定期的に土砂撒きやしゃんせつを実施をしている。	定期的に土砂撒きやしゃんせつを実施をしている。	都市創造部 公園道路管理課	
①-4	屋外広告物規制事業	・屋外広告物の新規・継続・撤去等許認可事務を13件対応した。 ・中和幹線公道における屋外広告物適正化について、県と協働して市から広告物管理者への周知を実施し、既存不適格広告物が全て解消された。 ・運送会社の簡易荷役活動を9月・2月に実施し、市内の美観の維持を図った。 ・市内一駅一ページでの屋外広告物の定期的な安全点検実施に係る周知・啓発を継続する。 【課題】 ・屋外広告物の安全点検について、令和6年度より点検項目が拡充されているため、統続した周知・啓発を必要としている。	A 67 現状維持 75 現状維持 72 現状維持	【成果の方向性】 ・引き続き、屋外広告物の許認可業務を適正に行なう。 ・これまで実施してきた違反広告物の撤廃抑制活動により、違反広告物は減少しているが、良好な景観形成及び公衆に対する危害の防止の観点から、違反広告物のさらなる減少に向け、今後も協力体制は継続していく。 【コストの方向性】 事業に必要なコストは前年度と同程度。	都市政策交通部 都市政策交通部		

### ■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・街路や公園において定期的な草刈り・剪定の未実施箇所における実施 ・中和幹線公道における屋外広告物適正化について、県と協働して市から広告物管理者への周知を実施し、既存不適格広告物が全て解消された。 ・運送会社の簡易荷役活動を9月・2月に実施し、市内の美観の維持を図った。 ・市内一駅一ページでの屋外広告物の定期的な安全点検実施に係る周知・啓発を継続する。 【課題】 ・屋外広告物の新規・継続・撤去等許認可事務 ・中和幹線の良好な景観形成に努める ・違反広告物の撤廃抑制活動 ・屋外広告物の定期的な安全点検実施に係る周知・啓発
---------	--

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性	
	A	4 事業	B	0 事業
A	2 事業	拡充	3 事業	現状維持
B	0 事業	現状維持	1 事業	縮小
C	0 事業	休廃止	0 事業	休廃止

## 令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 90-91 ページ)

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	25 良好的な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成



良好な市街地が形成され、誰もが安心して自由に快適に移動できている。



## ■ ■ 施策の主な取り組み

## ① 良好的な市街地の形成

社会情勢の変化にともなう新たな課題や住民のニーズに対応するため、まちづくりに関する計画の策定や見直しを進めるとともに、管理不全な空き家等の発生抑制など、適正な土地利用を推進します。

#### ◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
空き家率	%	空き家数／住宅総数	8.2	8.2	8.2	8.2

前年度実績額 (R5)		今年度の進捗			担当所管
目標値	中间値 (9月末)	実績額 (年次末)	目標達成度 (R6年度比)		
—	8.2	6.9	6.9	—	都市創造部 都市政策交通課

## ② 持続可能な地域公共交通の確立

地域公共交通を維持していくために、モビリティマネジメントや交通弱者の外出支援など実施し、持続可能な地域公共交通の利用促進に取り組むことで、誰しもが移動しやすい快適な暮らしの提供に努めます。

#### ■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	空家等対策関係事業	空き家管理の重要性を周知するため、所有者等への情報提供を行うとともに、問題のある空き家等の把握に努め、所有者等による適正な整理や活用を促進します。	●

感公共交通を維持し

持続可能な地域公共交通の利用促進に取り組むことで、誰しもが移動しやすい快適な暮らしを供に努めます。

の公共交通機関との連携を図りながら、地域公共交通（コミュニティバス、デマンド交通）を運行します。また、モビリティマネジメントなど実施し、地域公共交通の利用促進に取り組みます。

#### ■実施する主な事業の評価



### ■■ 施策の方向性(改善策)

- ・管理不全の空き家所有者に対し、義務の問及び管理サービスや市場法促進の促進を図るために情報提供を継続すると共に、安心・安全の確保にこだわることで、地域活性化への活用を図ることを目的に、空き家の有効活用による地域活性化を実現する。
- ・空き家法改正による埼玉市空き家対策会議の打ち合わせ
- ・コミニティハイバード及びリマジン交通による今後の運行見直しについて、香芝市域社会共交通活性化協議会での意見を踏まえ、改めて運行見直しを行います。
- ・JR西日本と交渉して、定期券の購入料金を、コロナ禍がある程度落ち着いてから改めて実施するに至るが、運転士不足等、公共交通事業者の状況は依然として厳しく、地域公共交通を維持・確保するために、事業者と連携し、モビリティマネジメント等を通して利便性を促進する必要があります。

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	0 事業	拡充	1 事業	拡大	0 事業
B	2 事業	現状維持	1 事業	現状維持	1 事業
C	0 事業	縮小	0 事業	縮小	1 事業

## 令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 92-94 ページ)

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのため。(自然・環境・都市基盤)
施策名	26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実

### ★ 目指す姿

パリアフリーの充実した施設が整い、人と自然が共存する生活環境が構築されている。



### ■ 施策の主な取り組み

#### ① 公園整備の推進

身近な場所において、余暇を楽しむ機会を増やすため、安全・快適に利用できる公園の整備を図ります。また、多くの人が集い、活動できるスポーツ公園、総合公園の整備を進め、地域の賑わいの場とします。

#### ■実施する主な事業

No	名称	概要	総合割合
①-1	香芝市スポーツ公園整備事業	恵まれた自然環境の中で、市民の誰もが安全で自由に遊び、多様なスポーツが行える公園を計画的に整備します。	●
①-2	街区公園・親水緑地整備事業	市内全域の配置を踏まえ、ため池を利用した親水公園など事業地の確保を検討し、公園・緑地の整備を図ります。	●
①-3	香芝総合公園整備事業	周辺環境との一体的整備を基本とし、全体的な整備内容等の見直しを図ったうえで、計画的に事業を推進します。	●

#### ◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14
住民1人当たりの都市公園の敷地面積	m <sup>2</sup>	都市公園面積／人口	5.1	5.5	6.8	7.9

前年度実績値 (R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年末末)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
5.2	5.5	5.2	5.2	25.0%	都市創造部 土木建設課

#### ② パリアフリー化の推進

パリアフリー基本構想に基づき、高齢者や障がい者をはじめ、すべての人にやさしいまちづくりを進めます。

#### ■実施する主な事業

No	名称	概要	総合割合
②-1	パリアフリー推進事業	香芝市パリアフリー基本構想に基づき、特定事業の進捗を管理し、パリアフリー化を推進することも、パリアフリー教室の開催などにより「心のパリアフリー」を推進します。	●
②-2	歩道等パリアフリー化事業	段差の解消や視覚障がい者用誘導ブロック・スロープ等の設置により、歩道等のパリアフリー化を推進します。	●
②-3	既存道路/パリアフリー化事業	香芝市パリアフリー基本構想における重点整備地区内の道路について、用地取得をともなう歩道の設置や道路構造の改良を行うことで、歩行空間の確保を目指します。	●

#### ◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14
重点整備地区内のパリアフリー特定事業完了率	%	特定事業(パリアフリー化工事等)が完了した事業数／特定事業の全事業数	32.9	54.4	73.8	100

前年度実績値 (R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年末末)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
55.0	55.0	—	59.0	118.1%	都市創造部 都市政策交通課

#### ③ 地域拠点としての駅周辺整備

駅利用者の利便性の向上および安全性の確保を促進します。

#### ■実施する主な事業

No	名称	概要	総合割合
③-1	駅周辺整備事業	駅周辺事業者をはじめとする権利者および関係機関と協議し、合意形成に至った箇所について整備します。	●

#### ◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14
駅周辺整備率(踏切・暫定広場整備を含む)	%	整備した箇所数(累計)／整備対象箇所数	68	72	72	76

前年度実績値 (R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年末末)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
72	72	72	72	100.0%	都市創造部 土木建設課

### ■実施する主な事業の評価

No	事業名	今年度の事業評価	今後の方向性			担当所管
			3視点	所管判定	方向性の内容(改善策)	
<b>今年度の事業実施計画</b>						
①-1	香芝市スポーツ公園整備事業	【実績】 ・令和5～7年度にかけてスポーツ公園ブルー施設建設工事を実施 ・香芝市スポーツ公園(ブルー区域)において、ブルー施設の建設工事及び仮設駐車場の造成工事を行う。 ・土地・建物等の価格算定を行い、地権者に対して用地交渉を行う。	A	72 55 87	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・施設の事業用地が確保でき箇所から、段階的整備による事業効率の早期発現に向け ・事業者と手携手す。 ・施設の事業用地がボトルネックとなっているため、引き続き交渉を行う。 【コストの方向性】 ・他の財政負担を最小にするような事業手法等を検討し、国庫補助金も活用しながら、総合的助成金を最大限に活用できるよう事業を進めること。
①-2	街区公園・親水緑地整備事業	【実績】 ・今年度は事業実施箇所なし ・今年度は事業実施箇所はないが、今後の事業実施に向けて関係機関(自治会等)と協議を進めていく	A	75 95 87	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・市内全般の公園・緑地の配置や地元要望等を踏まえた中で、新たな街区公園や親水緑地の整備箇所の検討を行う。 【コストの方向性】 ・コストの方向性は、工事費用をいかめ、事業計画としては縮小だが、将来の整備に向け ・国庫補助金を最大限に活用できるよう事業を進める。
①-3	香芝総合公園整備事業	【実績】 ・総合公園整備基本構想策定 ・総合公園内施設の整備、樹木剪定、倒木清掃等の実施 ・香芝市総合公園基本構想の策定 ・総合公園内施設の整備、樹木剪定、倒木清掃等の実施	B	82 90 82	拡充 拡大 拡大	【成果の方向性】 ・年内全般の公園・緑地の配置や地元要望等を踏まえた中で、新たに街区公園や親水緑地の整備箇所の検討を行う。 【コストの方向性】 ・コストの方向性は、工事費用をいかめ、事業計画としては縮小だが、将来の整備に向け ・国庫補助金を最大限に活用できるよう事業を進める。
②-1	パリアフリー推進事業	【実績】 ・JR各駅のパリアフリー化事業は令和6年9月20日に完了した。 ・駅の公トイレ設備工事(パリアフリートイレ)は3月末に完了した。 ・令和6年度は学校でパリアフリー教室を実施した。(関葉小学校10月31日、真美ヶ丘小学校11月1日) ・今後は駅周辺の歩道や駅構内等の整備工事を実施する。 ・パリアフリーリースルームの整備を実施した。 ・香芝市パリアフリー特定事業計画について、各事業主体の連携状況を確認した。 【課題】 ・JR香芝駅パリアフリー化補助事業の実施 ・パリアフリー教室の開催 ・心のパリアフリーに関する広報・啓発 ・パリアフリー基本構想(特定事業計画)の進捗管理	A	90 95 85	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・JR香芝駅のパリアフリー化事業が9月に完了した。引続き、公衆トイレ設置(パリアフリー対応トイレ)の実施を行って、今年度中または次年度初頭の供用開始を目指すとともに、広報等を通じて情報発信を行う。 【コストの方向性】 ・JR香芝駅のパリアフリー教室を実施して、障害に対する理解促進を行なう。 【リスクの方向性】 ・JR香芝駅のパリアフリー化事業は完了予定であるが、パリアフリー推進事業は引き続き実施している。 【コストの方向性】 ・JR香芝駅のパリアフリー化事業は完了予定であるが、パリアフリー推進事業は引き続き実施している。
②-2	歩道等パリアフリー化事業	【実績】 ・歩道343mのパリアフリー化の実施 【課題】 ・歩道等パリアフリー化未施工箇所の計画的な実施	A	80 95 95	現状維持 現状維持 現状維持	・今後も引き続き、香芝市パリアフリー基本構想における重点整備地区に位置付けられた歩道のパリアフリー化の促進を図る。
②-3	既存道路パリアフリー化事業	【実績】 ・国交付金の内示査定により事業未実施 【課題】 ・引き続き事業費の確保、用地取得に努める	A	95 55 95	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・未整備箇区について、地元自治会や鉄道事業者との協議を踏まえ、整備方針等を検討 【コストの方向性】 ・他の財政負担を最小にするような事業手法等を検討し、国庫補助金も活用しながら、総合的なコストを考慮した中で事業を進める。
③-1	駅周辺整備事業	【実績】 ・近鉄二上駅周辺整備について調査・検討を行う。	A	95 87 87	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・交通検討及び施設の結果、整備方針が固まった場合は、国庫補助金等を活用しながら、交通空間としての機能性を最大限向かうできるよう事業を進める。

### ■施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・段階的整備による事業効果の早期発現に向け工事を進める。 ・引き続き国庫補助金を最大限に活用できるよう事業を進める。 ・令和6年度に策定した基本構想に基づき、導入設置の実施・配置の設定、空間構成や動線の設定、管理・運営方法等、公園整備に係る具体策を示す基本計画を策定する。 ・引き続き、香芝市内各駅周辺の整備を実施する。 ・パリアフリーに関する広報・啓発活動を継続して実施する。
---------	---

担当課評価	成果の方向性	コストの方向性
A 6 事業	1 事業	1 事業
B 1 事業	6 事業	現状維持
C 0 事業	0 事業	0 事業
休廃止 0 事業	0 事業	0 事業

## 令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 95-96 ページ)

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	27 道路整備の充実

### ★ 目指す姿

交通混雑が解消され、誰もが安全に利用できる道路が確保されている。



### ■ 施策の主な取り組み

#### ① 幹線道路の整備

幹線道路のネットワーク強化を図るため、計画的に整備を進めます。

#### ■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	主要幹線道路整備事業	都市計画道路の整備を段階的に進めます。	●

#### ◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R5)	目標値 (R5)	中間値 (9月末)	実績値 (既接末)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
				R6	R10	R14						
都市計画道路供用済延長	km	これまでに供用を開始した都市計画道路延長(累計)	27.3	27.7	28.6	30.1	27.3	27.7	27.3	27.3	0.0%	都市創造部 土木建設課

#### ② 生活道路等の安全性の確保

安全性や緊急性による優先度を踏まえ、生活道路等の適切な管理・整備を進めます。

#### ■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	道路維持管理修繕事業	道路の路面状況等を把握するため、定期的なパトロールを行うとともに、市民から寄せられた情報などをもとに修補を行います。	●
②-2	橋梁点検及び長寿命化修繕事業	「香芝市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、道路橋の安全性・耐用年数の向上を図るため、修繕工事を実施します。	●
②-3	道路新設改良事業	道路の新設・拡幅整備を推進し、特に拡幅整備においては、部分的な待避所の設置や隣切りなど、状況に応じた整備を図ります。	●

#### ◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R5)	目標値 (R5)	中間値 (9月末)	実績値 (既接末)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
				R6	R10	R14						
市道の新設・改良箇所数	箇所	市道において、新設・改良工事を実施した箇所数(令和2年度からの累計)	0	4	8	12	15	18	15	19	105.6%	都市創造部 土木建設課

### ■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題			3視点	所管判定	方向性の内容(改善策)	
<b>今年度の事業実施計画</b>								
①-1	主要幹線道路整備事業	【実績】令和6～7年度にかけて畠分川線(1工区)の上部工築造工事(橋梁)を実施 【課題】-橋分川線(1工区)の橋梁上部工、及び尼寺閻屋線及び畠分川線(スポーツ公園区)の築造工事を行う。 -地権者に対して用地交渉を行う。	A	100	現状維持	成績の方向性	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
②-1	道路維持管理修繕事業	【実績】香芝市舗装長寿命化計画における分類B-C路線L=1.1kmの修繕工事を実施 【課題】-分類B-C路線において、地下埋設物用業者の新設改築工事計画を密に協議し、修繕工事後における短期間、短区間の掘り返し発生の防止	A	95	現状維持	香芝市舗装長寿命化計画における、分類B-Cである都市計画道路については、劣化度が高い路線の改善を実施して長寿命化を引き続き図る。 また、分類Dである生活道路においては、劣化度に加え、地元要望も加味して、長寿命化を図る。	都市創造部 公園道路管理課	
②-2	橋梁点検及び長寿命化修繕事業	【実績】-1橋の修繕工事、3橋の橋梁修繕設計を実施 -46橋の橋梁定期点検を実施 【課題】-5年1回の点検実施に該当する橋梁の点検を実施する。 -点検結果により修繕が必要になった橋梁の修繕を実施する。	A	90	現状維持	今後も引き続き、橋梁、大型カルバート及び歩道橋において5年に1度の定期点検を実施する。 要対策橋梁の修繕が終えてくるため、予防保全として、橋の維持管理を進めていく。	都市創造部 公園道路管理課	
②-3	道路新設改良事業	【実績】-下田西(市道6-45号線)、孤井(市道10-117号線)及び下寺(市道1-22号線)について拡幅・整備工事を実施 -孤井(市道10-49号線)の監査事業の支障物件の補償調査を実施 【課題】-引き続き事業のスピードアップ、コストダウンに努める。 -補償調査を実施した物件については用地取得に向け交渉予定	A	100	現状維持	【成績の方向性】-複数の事業用路における測量や設計を一体的に実施するなど、連携管理を強化・徹底 【コストの方向性】-市の財政負担を最小にするような事業手法等を検討し、国庫補助金も活用しながら、総合的なコストを考慮した中で事業を進める。	都市創造部 土木建設課	
<b>・市内の狭い道路の整備(拡幅工事等)を推進する。</b>								



### ■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	道路維持管理については、継続して香芝市舗装長寿命化計画における分類B-C路線について、維持工事を実施する。 -焼空点検に関しては、5年サイクルで橋梁212橋・大型カルバート1箇所・横断歩道橋2橋の点検を行っていくとともに集約を検討し、管理橋の削減を図る。 -引き続き事業のスピードアップ、コストダウンに努める。 -開通事業の進捗状況を見ながら調整して事業を進める。
---------	---

担当課評価	成績の方向性		コストの方向性	
	A	B	C	D
A	4 事業	0 事業	拡充	0 事業
B	0 事業	4 事業	現状維持	4 事業
C	0 事業	0 事業	縮小	0 事業
	休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

## 令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 97-98 ページ)

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	28 上水道の基盤強化

### ★ 目指す姿

「快適な水道サービスと安定した水道事業を目指して」という基本理念の実現に向けて、安心・安全・強靭な水道事業の運営が行われている。



### ■ 施策の主な取り組み

#### ① 安心・安全・安定した水道の供給

管路の耐震化および施設の適切な維持管理により、安心・安全な水道水の安定供給に努めます。また、応急給水用品の整備や飲料水貯水槽施設の設置などにより、災害時の持続可能な供給体制の充実を図ります。

#### ■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合割合
①-1	水道施設更新事業	漏水の可能性のある老朽管の更新及び最重要管である口径300mm以上の基幹管路の耐震化を重点的に行います。	●

#### ◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14
基幹管路の耐震化率	%	基幹管路(口径300mm以上の配水管)の耐震管の累計延長/基幹管路総延長	11.9	28.6	45.3	62.1

前年度実績値 (R5)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
14.6	28.6	14.6	15.9	23.7%	上下水道部 工務課

#### ② 健全な水道事業の運営

適正な水道料金を維持し、適切なサービスを継続して提供できるよう、健全な水道事業運営に努め、今後県域水道一体化の検討も含め、経営基盤の強化を図ります。

#### ■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合割合
②-1	水道事業の経営健全化事業	委託業務の適正化や業務の効率化に取り組み、効率的な事業運営に努めます。また、ホームページ等による情報提供やお客さまのニーズに合ったサービスの提供に取り組みます。	●

#### ◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14
経常収支比率	%	経常収益/経常費用	113.8	100以上	100以上	100以上

前年度実績値 (R5)	目標値	今年度の進捗			担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
105.0	100以上	—	107.6	—	上下水道部 業務課

### ■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価	実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	今後の方向性			担当所管
					3視点	所管判定	方向性の内容(改善策)	
①-1	水道施設更新事業	【実績】 -配水管の更新事業(14事業、うち基幹管路1事業) -鉄製給水塔を31戸更新。  【課題】 -令和6年度基幹管路耐震化率の目標値を28.6%としましたが、配水管漏水に伴うお取替工事や国道168号の道路拡幅による施工工事を優先させたこともあり、目標値を下回っています。今後耐用年数の到来する配水管の増加も見込まれるため、より効率的に更新工事に取り組む必要があります。	B	90 67 75	現状維持 現状維持	現状維持 現状維持	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
②-1	水道事業の経営健全化事業	【実績】 -ワーキンググループや作業部会等に積極的に参加し、県域水道一体化に向けて議論を進めることができます。 -検針及び開閉栓等業務委託(長期締結契約)について、県域水道一体化を見据え、業務の標準化を図りました。 【課題】 -引き続き費用対効果や業務の必要性の検討を継続し、県域水道一体化後も住民サービスを低下させないよう業務運営する必要がある。	A	90 80 80	現状維持 現状維持	【成果の方向性】 -令和7年度の県域水道一体化事業統合に向けて、引き続き総合部の検討と協議を進めます。 【コストの方向性】 -費用対効果や業務の必要性の検討を継続し、県域水道一体化後の経営健全化並びに業務委託の適正化に努めています。	担当所管	

### ■施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・関係機関と共に調整を行つ ・業務委託の更なる適正化に向けて、業務仕様の検討などを行つ。 ・奈良県広域企業団に事業は引き継がれたが、引き続き業務の適正化や業務の効率化に取り組む。
---------	---

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性	
	A	B	C	D
拡充	0	事業	拡大	0 事業
現状維持	2	事業	現状維持	2 事業
縮小	0	事業	縮小	0 事業
休廃止	0	事業	休廃止	0 事業

## 令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 99-100 ページ)

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	29 下水道の整備

### ★ 目指す姿

下水道が安定的に機能し、誰もが衛生的に暮らすことができている。



### ■ 施策の主な取り組み

#### ① 下水道の整備・更新

管渠整備を促進し、普及率の向上を図るとともに、管路施設老朽化の防止に努めます。		
---	--	--

#### ■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	公共下水道管渠整備事業	幹線管渠の整備を進めるとともに面的整備を進め、供用開始区域の広さと普及率の向上を図ります。また、管路施設の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、施設の更新を行います。	●

##### ◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14
下水道の人口普及率	%	下水道処理人口(下水道を利用できる人数)/住基人口	73.2	80.4	87.7	95

前年度実績値 (R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年次末)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
77.9	80.4	78.3	78.4	72.2%	上下水道部 下水道課

#### ② 水洗化の促進

公共下水道への未接続世帯に対し、下水道への接続を促すことにより、水洗化の普及促進および水洗化率の向上に努めます。		
--	--	--

#### ■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	水洗化促進事業	供用開始区域において、下水道の未接続世帯に対し個別訪問し、接続の促進を行います。	●

##### ◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14
下水道の水洗化率	%	下水道接続人口(下水道を利用している人)／下水道処理人口(下水道を利用できる人)	90.6	95	96	97

前年度実績値 (R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年次末)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
91.3	95	91.0	91.0	9.1%	上下水道部 下水道課

#### ③ 持続的な下水道機能の確保

下水道施設の計画的な点検や排水に対する水質指導により、持続的な下水道機能の確保を図ります。		
---	--	--

#### ■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	下水道維持管理事業	マンホールポンプ施設の計画的な保守点検や、下水排水基準に適合しない汚水を排出する事業所への指導を行います。	●

##### ◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14
法定水質基準遵守率	%	法律に基づく水質試験の基準を遵守した流域接続点の箇所数/市内の流域接続点の箇所数	100	100	100	100

前年度実績値 (R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年次末)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
100	100	50	100	100.0%	上下水道部 下水道課

### ■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価	実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	今後の方向性				担当所管
					3視点	所管判定	方向性の内容(改善策)	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	公共下水道管渠整備事業	【実績】 ・遠坂、上中、五位堂、鶴井、北本市、下田西地内において、整備完了しました。 【課題】 ・穴虫・遠坂・上中・良福寺・五位堂・鶴井・北本市、下田西地内において、関係機関と協議に時間を要し整備が完了せず次年度へ繰り越されました。	B	95 82 85	現状維持 現状維持 現状維持	必要性 有効性 効率性	コストの方向性	・管渠整備事業においては、整備要望の機運が高く、人口密集地域を中心に整備を実施することで、普及率の向上を目指す。	上下水道部 下水道課
②-1	水洗化促進事業	【実績】 ・普及促進の件数は前年度より上回ったが、新規供用開始を行った区域の処理人口の減少もあり、下水道への接続件数においても同時に下回った。 ・公共下水道未接続者の普及啓発を専門に行う「下水道接続推進員」を雇用し、前年度の接続件数(4,04件)以上を目標に啓発を実施する。	B	95 77 90	現状維持 現状維持 現状維持	普及促進 普及拡大	・普及拡大することに伴い水洗化率のさらなる向上が、水質の改善、使用料の増加に寄与することから、普及促進による活動を継続して実施する。	上下水道部 下水道課	
③-1	下水道維持管理事業	【実績】 ・法定水質基準が遵守できている。 【課題】 ・法定水質基準を満たしているが、一部水質の悪い(特定排水による水質変化の区)分に該当する箇所がある。	A	74 67 75	現状維持 現状維持 現状維持	コストの方向性	・接続点での水質検査を実施し、法定水質基準を遵守した水質維持について努めています。	上下水道部 下水道課	

次年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>要望地域や人口密集地域を中心に、各自治会と協議を交え機運の高さを確認して、整備促進を図っています。</li> <li>未接続世帯訪問時に見えなかった世帯について、訪問回数を増やし啓発の時期や時間などの訪問計画を見直しながら啓発活動を行っています。</li> <li>流域下水道接続点等21箇所において、水質検査を実施する。</li> </ul>
---------	---

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	1 事業	B	2 事業	C	0 事業
拡充	0 事業	拡大	0 事業	縮小	0 事業
現状維持	3 事業	現状維持	3 事業	休廃止	0 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業	休廃止	0 事業
休廃止	0 事業	休廃止	0 事業	休廃止	0 事業